

住宅用火災警報器を取り付けるときの注意は？

〈天井の場合〉

▼通常の壁面からの取付位置
火災警報器の中心を壁から60cm以上を離します。

▼梁などがある場合の取付位置
火災警報器の中心を梁から60cm以上離します。

▼エアコンなどの吹き出し口付近の取付位置
換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。

〈壁面の場合〉
天井から15～50cm以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。

住宅用火災警報器を購入するときの注意は？

住宅用火災警報器は、煙式と熱式の2通りに分けられます。煙式は寝室や階段に、熱式は台所にご使用ください。また、目や耳の不自由な方には音や光の出る補助警報装置付きのものもあります。

住宅用火災警報器は、消防用品店、電気店およびホームセンターなどで取り扱っています。感度やブザー音量などが基準に合格したものは、日本消防検定協会の鑑定マーク（「NS」マーク）が付いています。住宅用火災警報器購入の目安として「NS」マークが付いているものを選びましょう。

日本消防検定協会
NSマーク



悪質な訪問販売に注意してください!!



役場の職員や消防署員が住宅用火災警報器を販売することはありません。十分注意してください!!

【問合せ先】鳥取県西部広域行政管理組合消防局予防課 ☎ 35-1954
自治振興課 町づくり推進室 ☎ 68-3113



取り付けましょう 住宅用火災警報器

～平成23年5月31日までに設置が義務付け～

住宅における防火安全対策の充実強化を図るため、平成16年に消防法が一部改正され、住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。火災が発生したとき、目で煙や炎をみたり、鼻で焦げ臭いにおいを感じたり、耳でばちばちという音を感じたり・・・と五感によって気づくことがほとんどだと思えます。住宅用火災警報器は、火災の発生をいち早くキャッチして音や音声で知らせます。

Q どうして住宅用火災警報器が必要なの？

A 火災の発生に気づかず、『逃げ遅れ』により多くの方が亡くなっているからです。

近年、住宅火災による死者が急増し「住宅火災による死者数」は、建物火災による死者数の約9割を占めます。また、「住宅火災による死者数」を経過別に見ると『逃げ遅れ』が

最も多く全体の6割強を占めており、就寝中に火災が発生し、気づかず亡くなるケースが多いと考えられています。

Q どうに取り付ければいいの？

A 寝室に設置してください。また、寝室が2階にある場合は、寝室のある階の階段にも設置してください。

※共同住宅などの寝室に火災警報器等が付いていない場合も、住宅用火災警報器の設置が必要です。すでに自動火災報知設備やスプリンクラー設備などが設置されている場合は取り付ける必要はありません。

